

横浜市港湾施設条例施行規則第17条第1項第3号及び横浜市入港料条例施行規則第6条第1項第3号の規程に基づく使用料等の減免事由及び減免額の告示（インセンティブ告示） 新旧対照表

現 行（旧）			改正案（新）				
横浜市港湾施設条例施行規則第17条第1項第3号及び横浜市入港料条例施行規則第6条第1項第3号の規定に基づく使用料等の減免事由及び減免額の告示			横浜市港湾施設条例施行規則第17条第1項第3号及び横浜市入港料条例施行規則第6条第1項第3号の規定に基づく使用料等の減免事由及び減免額の告示				
（本文から第4項まで省略）			（本文から第4項まで省略）				
5 環境に配慮した船舶の寄港の促進を図るもの			5 環境に配慮した船舶の寄港の促進を図るもの				
減免する事由		減免額		減免する事由		減免額	
		入港料	岸壁使用料			入港料	岸壁使用料
(1) WPSP（World Ports Sustainability Program）が認証した船舶のESI（Environmental Ship Index）値が30以上の外航船舶又はグリーンアワード財団（Green Award Foundation）が認証した外航船舶が入港したとき。		15%相当額		(1) WPSP（World Ports Sustainability Program）が認証した船舶のESI（Environmental Ship Index）値が30以上の外航船舶又はグリーンアワード財団（Green Award Foundation）が認証した外航船舶が横浜港に入港したとき。		15%相当額	
(2) 液化天然ガスを燃料とする船舶又は液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶が入港したとき。		全額		(2) 液化天然ガスを燃料とする船舶又は液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶が横浜港に入港したとき。		全額	
(3) 液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶が停留地として岸壁を使用したとき。			全額	(3) 液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶が停留地として岸壁を使用したとき。 液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶のうち液化天然ガス以外の燃料を海上において供給する設備も併せもつ船舶が停留地として岸壁を使用したとき。		全額	
液化天然ガスを燃料とする船舶に燃料として液化天然ガスを海上において供給するための設備を有する船舶のうち液化天然ガス以外の燃料を海上において供給する設備も併せもつ船舶が停留地として岸壁を使用したとき。			75%相当額			75%相当額	
（※1及び※2省略）			（※1及び※2省略）				
※3 上記表中(2)に掲げる減免事由に該当する場合で、第1項から第4項に掲げる複数の減免事由に該当する場合は、入港料の減免については、			※3 上記表中(2)に掲げる減免事由に該当する場合で、第1項から第4項に掲げる複数の減免事由に該当する場合は、入港料の減免については、				

現 行（旧）	改正案（新）		
<p>申請者が申請の際に選択したいいずれかの項の一の事由を適用するものとする。</p> <p>（以降省略）</p>	<u>以上補油したとき。</u>		
	<p>（※ 1 及び※ 2 省略）</p> <p>※ 3 上記表中(2) 、(4)又は(5)に掲げる減免事由に該当する場合で、第 1 項から第 4 項に掲げる複数の減免事由に該当する場合は、入港料の減免については、申請者が申請の際に選択したいいずれかの項の一の事由を適用するものとする。</p> <p>※ 4 <u>上記表中(4)に掲げる「メタノールを燃料とする船舶」にはメタノール及び低硫黄燃料油を燃料とするデュアルフューエルエンジンで運航可能な船舶を含む。</u></p> <p>※ 5 <u>上記表中(5)に掲げるバイオ燃料の混合比率は燃料の体積に基づく。</u></p> <p>（以降省略）</p>		